初日 龍神ドリーム 10月15日(火) 第12レース

1号艇 4502 遠藤 エミ（えんどう えみ）
A1・滋賀・36歳
全国 7.25 びわこ 6.94
史上初の女子ＳＧ覇者。今回こそは地元では初の特別戦Ｖを成し遂げる。

2号艇 4166 吉田 拡郎（よしだ かくろう）
A1・岡山・42歳
全国 6.56 びわこ 7.30
今年は大舞台での活躍は見られないが、大胆かつ繊細な走りで魅了する。

3号艇 4044 湯川 浩司（ゆかわ こうじ）
A1・大阪・45歳
全国 6.91 びわこ 6.84
今年は江戸川ＧＩ＆ＧⅡでＶ。湖面でも当タイトルとＧＩ戦でＶ歴誇る。

4号艇 4013 中島 孝平（なかじま こうへい）
A1・福井・44歳
全国 6.84 びわこ 7.06
2010年のＧＰを含めＳＧは2冠。今回こそ当地特別戦で快音を響かせる。

5号艇 4494 河合 佑樹（かわい ゆうき）
A1・静岡・37歳
全国 7.60 びわこ 7.15
これまでＧＩ、ＧⅡでＶの実績。１号艇でＶ逸した64回大会の雪辱期す。

6号艇 4266 長田 頼宗（おさだ よりむね）
A1・東京・39歳
全国 6.66 びわこ 7.02
2018年のＭＢ大賞Ｖをはじめ、好相性の湖面ではつねにＶ争いに加わる。

2日目 龍王ドリーム 10月16日(水) 第12レース

1号艇 4362 土屋 智則（つちや ともので）
A1・群馬・39歳
全国 6.73 びわこ 7.23
尼崎グラチャンで2回目のＳＧ制覇。存在感見せつけてＧⅡ初Ｖ目指す。

2号艇 4459 片岡 雅裕（かたおか まさひろ）
A1・香川・38歳
全国 6.58 びわこ 6.85
当地でＧＩ初Ｖを飾ったのは7年前。その後はＳＧ2冠と飛躍遂げた。

3号艇 3918 深井 利寿（ふかい としひさ）
A1・滋賀・50歳
全国 6.51 びわこ 6.19
当地72周年で12年ぶりのＧＩＶ。愛弟子・遠藤エミに負けない活躍誓う。

4号艇 4524 深谷 知博（ふかや ともひろ）
A1・静岡・36歳
全国 6.88 びわこ 7.15
積み重ねたＳＧは3冠。コース不問の豪快ターンで主役の座は渡さない。

5号艇 4024 井口 佳典（いぐち よしのり）
A1・三重・47歳
全国 7.28 びわこ 7.20
ＳＧ6冠に加え昨年のマスターズＣで名人襲名。剛柔自在に突き進む。

6号艇 4682 大上 卓人（おおうえ たくと）
A1・広島・34歳
全国 6.69 びわこ 7.09
64回大会で特別タイトル初優勝。それ以来の歓喜へ向かって全力尽くす。

出場予定選手

※9月18日現在

選手登録番号順。ドリーム戦出場選手は上掲

登録番号
よみがな
選手名
級別・支部・年齢（初日現在）

全国
2023年11月1日～
2024年4月30日
2024年後期適用勝率

びわこ
2021年9月1日～
2024年8月23日 勝率

※欠場などにより出場選手が変更になる場合があります。

3300 川崎 智幸（かわさき ともゆき）
A2・岡山・57歳
全国 6.11 びわこ 6.13
ＧＩ7Ｖの古豪が存在感を見せつける。

3388 今垣光太郎（いまがき こうたろう）
A2・福井・55歳
全国 7.25 びわこ 7.38
15大会ぶりの大会Ｖへ執念の走り披露へ。

3499 市川 哲也（いちかわ てつや）
A2・広島・56歳
全国 5.50 びわこ 6.14
ＧＩ2Ｖの湖面で陰りのないＳ力発揮。

3554 仲口 博崇（なかぐち ひろたか）
A2・愛知・52歳
全国 6.02 びわこ 6.55
韋駄天と称されたスピード戦は健在だ。

3711 江本 真治（えもと しんじ）
A2・山口・50歳
全国 5.91 びわこ 6.20
機力が仕上がれば強気な攻めで見せ場。

3717 立間 充宏（たつま みつひろ）
A2・岡山・49歳
全国 5.46 びわこ 6.32
剛柔自在のレース運びで舟券に貢献。

3888 山本 英志（やまもと えいし）
A2・東京・49歳
全国 5.73 びわこ 5.96
7月の江戸川MB大賞は予選を突破。

3915 繁野谷圭介（しげのや けいすけ）
A2・大阪・50歳
全国 6.20 びわこ 6.39
当地はＶ歴なしも大崩れのない走り。

3944 山口 裕二（やまぐち ゆうじ）
A2・長崎・45歳
全国 5.67 びわこ 6.33
ターン回りが整えば鋭角差しで突破へ。

3961 谷村 一哉（たにむら かずや）
A1・山口・45歳
全国 6.35 びわこ 6.69
2016年には徳山&宮島でＧＩ2Ｖ達成。

3966 作間 章（さくま あきら）
A2・東京・45歳
全国 6.19 びわこ 6.40
特別戦は14優出。悲願Ｖへ闘志衰えず。

3996 秋山 直之（あきやま なおゆき）
A2・群馬・45歳
全国 7.53 びわこ 7.36
艇界屈指の全速ターンで湖面を沸かす。

4012 中村 有裕（なかむら ゆうすけ）
A2・滋賀・45歳
全国 6.20 びわこ 5.82
SGメモリアルに加え当大会でもＶ歴。

4019 笠原 亮（かさはら りょう）
A1・静岡・44歳
全国 7.06 びわこ 7.11
ＧＩＶ歴のある当地で絶品ターン披露。

4028 田村 隆信（たむら たかのぶ）
A1・徳島・46歳
全国 6.66 びわこ 6.76
銀河系の一番星は今なお輝き続ける。

4049 荒川 健太（あらかわ けんた）
A1・三重・44歳
全国 6.27 びわこ 6.08
特別タイトル優勝なしもＧＩで準Ｖ2回。

4155 長野壮志郎（ながの そうしろう）
A1・福岡・43歳
全国 6.91 びわこ 6.45
一昨年の福岡九州地区選でＧＩ初制覇。

4190 長嶋 万記（ながしま まき）
A2・静岡・43歳
全国 6.22 びわこ 6.79
昨年は女子ＧⅡタイトルで２回のＶ。

4199 北川 潤二（きたがわ じゅんじ）
A2・愛知・42歳
全国 6.00 びわこ 6.58
地元お盆シリーズは6号艇からＶ奪取。

4254 川島 圭司（かわしま けいじ）
A2・滋賀・41歳
全国 5.75 びわこ 5.69
調整熟知した地元は整備で機力アップ。

4278 藤岡 俊介（ふじおか しゅんすけ）
A1・兵庫・41歳
全国 6.95 びわこ 6.80
今期のスタート発順は今節№1の数字。

4361 柳生 泰二（やぎゅう たいじ）
A1・山口・39歳
全国 7.16 びわこ 7.07
Ｖ含め2連続優出中の湖面でＶ争いへ。

4424 松尾 昂明（まつお たかあき）
A2・福岡・39歳
全国 6.21 びわこ 6.25
攻撃力倍増の当地は大外Ｖの実績残す。

4446 和田 兼輔（わだ けんすけ）
A1・兵庫・37歳
全国 6.27 びわこ 6.55
近畿地区選で2019年から2年連続優出。

4515 藤田 浩人（ふじた ひろひと）
A2・佐賀・38歳
全国 5.95 びわこ 5.76
2013年の大村ＧⅡ戦では優出の実績。

4547 中田 竜太（なかだ りゅうた）
A1・埼玉・36歳
全国 6.47 びわこ 6.98
ＧＩは4Ｖ。次は当地初タイトル狙う。

4551 三川 昂暁（みかわ たかあき）
A2・福岡・35歳
全国 5.97 びわこ 5.71
昨年7月の芦屋で15年目の悲願初Ｖ。

4700 金子 和之（かねこ かずゆき）
A2・埼玉・37歳
全国 6.05 びわこ 5.85
今期勝率は自己最高のＡ1ペース刻む。

4715 村上 遼（むらかみ りょう）
A1・長崎・32歳
全国 6.72 びわこ 6.82
ＧＩ準Ｖが2回。タイトルはもう目前。

4732 堀本 和也（ほりもと かずや）
A2・徳島・35歳
全国 5.98 びわこ 6.34
出足特化のセッティングで主役奪う。

4734 安河内 将（やすこうち しょう）
A1・佐賀・34歳
全国 6.83 びわこ 6.62
2019年の当地ＧＩ戦では優出の活躍。

4852 川原 祐明（かわはら ひろあき）
A2・香川・29歳
全国 6.16 びわこ 6.43
本領のスピード戦は記念戦線でも脅威。

4963 實森 美祐（さねもり みゆ）
A2・広島・28歳
全国 5.95 びわこ 5.76
女子ＧＩ＆ＧⅡでは優出の実績誇る。

4983 前田 篤哉（まえだ あつや）
A1・愛知・27歳
全国 7.15 びわこ 6.43
Ｖ歴ある当地で特別戦初優出を目指す。

5015 高橋 竜矢（たかはし りゅうや）
A2・広島・26歳
全国 5.95 びわこ 6.49
当地は連続Ｖ中。抜群の相性発揮へ。

5017 澤田 尚也（さわだ なおや）
A2・滋賀・25歳
全国 6.34 びわこ 6.72
将来の滋賀エースと称される潜在能力。

5043 中村 日向（なかむら ひゅうが）
A1・香川・25歳
全国 6.41 びわこ 6.49
昨年の四国地区選でＧＩタイトル獲得。

5267 石本 裕武（いしもと ひろむ）
A2・大阪・24歳
全国 6.19 びわこ 5.17
令和の怪物が水神祭挙げた湖面で躍動。

サンスポ 倉橋記者おすすめのモーター10選

2024年4月23日～9月17日

モーター番号	2連対率	勝率	優出	優勝
62	51.6%	6.60	4	0
57	41.1%	5.83	2	1
33	40.6%	5.38	3	1
40	40.4%	6.11	2	1
48	39.8%	5.93	2	0
71	38.0%	5.49	1	0
37	35.7%	5.35	2	1
59	26.1%	4.42	1	1
51	23.1%	4.42	0	0
17	21.1%	4.32	0	0

総展望

サンスポ 倉橋 智宏（サンケイスポーツ）

ＧＩびわこ大賞の興奮が冷めやらぬ湖面に好メンバーが集結。当地伝統のＧⅡタイトルを巡って、再び激しいバトルが展開される。

Ｖ戦線の主役には地元の遠藤エミを指名する。一昨年の大村クラシックでは、史上初となる女子SG制覇を達成。地元では自身初となる特別タイトル優勝を目指し、〝最強女子〟の実力を存分に発揮する。

2020年の第63回大会、さらに当地周年（ＧＩ）でもＶの実績を残す湯川浩司をはじめ、井口佳典、田村隆信らが〝銀河系軍団〟の面々も陰りのない手腕を駆使してＶ争いに加わりそう。同じくSG覇者の肩書を持つ中島孝平、深谷知博、片岡雅裕、土屋智則、吉田拡郎、笠原亮、長田頼宗も有力なＶ候補。先月のびわこ大賞を制した地元・深井利寿や、中田竜太、河合佑樹、谷村一哉らＧＩホルダーの面々、さらに当タイトルでＶ歴を持つ大上卓人もシリーズを盛り上げそうだ。

A2級の面々では、当地の特別戦では豊富な実績を残すのが今垣光太郎と市川哲也。将来のびわこエースと称される澤田尚也も、念願の特別タイトル初Ｖを狙って持ち前のスピードターンを連発する。超大型新人として注目を集める石本裕武の走りも楽しみだ。

第67回大会優勝 藤原啓史朗選手

秋のびわこの水面解説

かつては全国24場の中でも〝インが弱い〟場の一つに挙げられたびわこだが、最近１年間のイン１着率は52.8%。全国平均（54.6%）を下回っているものの、やはり１号艇＝インが主導権を握るレースが基本になりそうだ。

季節によって変化する琵琶湖の水位は４～５月がピーク。秋から冬は海水場に例えるなら干潮の時間帯で、特有のうねりの影響は春に比べると小さい。ただ、北東の追い風なら１マークがうねりで波打つ場面も。当地巧者や、波を越えるパワーを持つ選手をイン艇の相手として狙うのがパターンだ。

進入コース別成績

進入コース	【最近1年間】(2023年9月1日～2024年8月31日)			2023年10月1日～10月31日		
	1着回数(%)	2着回数(%)	3着回数(%)	1着回数(%)	2着回数(%)	3着回数(%)
1コース	1,164(52.8)	409(18.5)	186(8.4)	140(58.3)	38(15.8)	14(5.8)
2コース	338(15.3)	544(24.7)	419(19.0)	34(14.2)	61(25.5)	41(17.1)
3コース	296(13.4)	472(21.4)	431(19.6)	28(11.6)	63(26.2)	46(19.1)
4コース	249(11.3)	355(16.1)	453(20.5)	19(7.9)	25(10.4)	48(20.0)
5コース	127(5.7)	295(13.4)	410(18.6)	13(5.4)	41(17.0)	57(23.7)
6コース	32(1.4)	131(6.0)	306(14.1)	6(2.5)	12(5.1)	34(14.4)

【びわこ】秩父宮妃記念杯

最近10大会の優勝

回	開催年	優勝者
第58回	2014年	石野 貴之
第59回	2015年	中野 次郎
第60回	2017年	麻生 慎介
第61回	2017年	山本 隆幸
第62回	2019年	吉川 昭男
第63回	2020年	湯川 浩司
第64回	2020年	大上 卓人
第65回	2022年	馬場 貴也
第66回	2023年	平本 真之
第67回	2023年	藤原啓史朗

第68回大会・優勝戦
2024年 10月20日(日)・第12レース

中間整備モーターに注目

現行モーターは４月のＧＷ戦が初おろしで約半年が経過。最高２連対率51.6%をマークする62を中心とした上位機がエース級グループを形成しているが、多数派を占めるのがおなじみの中間整備（非開催日に整備士が行う本体整備）によって急変したモーターだ。33は40.6%まで上昇したが、深井利寿が９月の72周年記念（ＧＩ）制した59は26.1%で、他にも37、51、17など20～30%台のエース級が多数存在する。出走表だけで判別するのは不可能だけに、スポーツ紙等での情報チェックは不可欠だろう。